第 3 号議案(1)

2019年度事業計画

1. 会議計画

主要な会議である総会，諮問会，理事会，運営審議会および賞選考関連会議は以下のとおりとする.

1.1 総 会

第 47 回定時社員総会を 2019 年 5 月 31 日(金)に大阪で開催する. 主要な議案は，2018 年度事業報告と収支決算報告，2019 年度事業計画と事業予算についてである.

1.2 諮問会

第 8 回諮問会を 2019 年 4 月 25 日(木)に横浜で開催する. 諮問会の主要な審議事項は，上記総会に提出する議案について報告し，幅広く意見を伺うことである.

1.3 理事会および運営審議会

理事会を2回(第115,116回)，運営審議会を2回(第25,26回)開催し，総会および諮問会への提出議案の作成，各事業の充実，財政基盤の強化等について審議する.

1.4 賞選考委員会

第 24 回賞選考委員会を第 115 回理事会開催前に開催する. 賞選考委員会において第 43 回レーザー学会業績賞(論文賞，進歩賞)及び奨励賞を審議する. 学術講演会第 39 回年次大会の論文発表賞については年次大会実行委員会が選考を行い，結果を賞選考委員会に報告する. 賞選考委員会は以上の選考結果を審議し第 115 回理事会及び第 8 回諮問会に報告する. また，第 10 回産業賞選考委員会を開催し，優秀賞，奨励賞及び貢献賞につき審議する.

第 40 回年次大会の論文発表賞の受賞通知を 2 月末に実施する. 第 12 回産業賞の授賞者を4月上旬に学会ホームページにて告知する.

なお，フェロー制度，上級会員制度において，昨年度応募のあった候補選考を第 116 回理事会開催前に第 5 回称号審査委員会にて行う.

2. 事業，行事計画

実施する事業，行事計画は以下のとおりとする.

2.1 編集委員会および会誌出版

会誌「レーザー研究」を年 12 冊(第 47 巻 4～12 号および第 48 巻 1～3 号)，毎月中旬に発行する. このため，編集委員会を 12 回(第 469～480 回)開催し，企画編集，進捗フォロー，次号ゲラ刷りのチェック等を実施する. 開催日は毎月中旬とし，原則として東京と大阪で交互に開催する.

2.2 研究委員会および研究会

研究委員会を 4 回(第 242～245 回)，研究会を 11 回(第 532～542 回)開催する. 研究会については主催開催の研究会を 8 回，他学会との共催研究会を 3 回開催する. 単独開催の研究会では資料「研究会報告」を作成し，研究会当日に参加者に販売するとともに，年間購入予約者に頒布する.

研究会開催にあたっては，アピール箇所を明確にし PR に努めるとともに，希望する多くの方が参加できるような場所での開催を心掛け，さらなる参加者数の拡大に努める.

2.3 技術専門委員会

技術専門委員会を 16 件(継続 15 件，新規 1 件)を実施する.

学会 HP 上に各委員会の設立・継続にあたっての目的を明らかにし，賛同者を募り，学会内コミュニティ形成のための基盤作りに努める. また活動を終える技術専門委員会には，研究会への展開についても検討するよう働きかける.

2.4 学術講演会年次大会

第 40 回記念大会は，併設展示会”Laser Solutions 2020”と併せ，2020 年 1 月 20 日(月)～22 日(水)の平日に，仙台国際センター(宮城県仙台市青葉区)で開催する. シンポジウムにおいてレーザー学会が訴求したい内容が、外から見て分かり易いように分野キーワードの見直しを図る.

2.5 国際交流

Optics&Photonics International Congress(OPIC) 2019 をパシフィコ横浜会議センター(横浜市)にて開催(2019 年 4 月 22 日(月)～26 日(金)). また、レーザー研究の国際的振興のため，欧米，およびアジア・太平洋地区の関連学協会との研究交流を推進する.

2.6 調査研究

CLEO/QELS 2019 等各種国際会議に参加する会員からの情報収集により，レーザー技術および関連技術に関する海外調査を実施する．その結果を会誌「レーザー研究」に掲載する．

2.7 レーザーセミナー

レーザー技術の基盤の拡大と普及を目指して下記セミナーを開催する．

(1) レーザー特別セミナー

本技術セミナーは，2019 年 4 月 24 日～26 日に開催の“レーザーEXPO2019”に併設して，「レーザーの基礎に重点を置くとともに，レーザー応用技術，産業界への普及例，および最新の製品開発のトピックスまでを網羅　した特別セミナーを開催する．

(2)レーザー普及セミナー

レーザー関連科学技術に関する基礎と最新動向を全国規模で展開すべく必要に応じて支部主体の活動を推進する．

(3)レーザー夏の学校（レーザー学会共主催，日本光学会協賛）

光・レーザー分野の研究に携わる学生及び若手研究者の交流，研究意識向上を目的として，当学会として教育及び学術交流の観点から本行事に支援を行う．支部活動の一環として支援強化する．2019 は電気通信大学に幹事校を務めていただく．

2.8 展示会

下記の展示会を開催する．

(1) レーザーEXPO 2019

レーザー機器の展示会“レーザーEXPO2019”をパシフィコ横浜展示ホール（横浜市）にて開催(2019 年 4 月 24 日（水）～26 日（金）).

(2) Laser Solutions 2020

第 40 回記念年次大会において，レーザー機器，書籍等の展示会“Laser Solutions 2020”を併催．

2.9 表彰，認定，賞推薦・助成推薦

(1) 表彰

第43回レーザー学会賞（業績賞・論文賞，業績賞・進歩賞，奨励賞），学術講演会第39回年次大会論文発表賞および学会活動に貢献のあった者の表彰を行う．これと併せて，レーザー関連技術及び事業において顕著な功績のあった者を表彰するレーザー学会産業賞の表彰を4月25日（木)に「レーザーEXPO2020」会場にて行う．

(2) **上級会員/フェロー認定**

2018 年度に申請のあった候補者は称号審査委員会で審査され，第 115 回理事会に諮られる．承認された会員各位に関しては本人同意を得たのちに，フェローについては定時総会にて認定書授与を検討する．

(3) **賞推薦，助成推薦**

レーザー学会会員に各種学術賞，研究助成案件を広く案内し，研究業績から優れた成果を上げたと認められる方，および学会に対し貢献のあった方を，学会として積極的に推薦していく．

2.10 支部活動の展開

支部活動の活性化による地域の状況に応じた会勢拡張と位置付けて，国内 6 支部にて，地域の会員へのレーザー関連学術情報提供サービス推進のため，単独および他学会支部との共催によるセミナー，研究会，講演会開催，情報交換，支部表彰等の活動を推進する．

2.11 関連学協会等との連携および協力

国内他学会，研究団体および関連業界との共催，協賛，後援による研究会，講演会等の開催を通じて，関係団体との連携，協力を推進する．ジョイントシンポジウムを双方の学術講演会で実施する取り組みは，昨年度から始めた日本光学会に加え，今年度新たに応用物理学会フォトニクス分科会とも検討を開始する．